

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	港湾整備B I M / C I Mクラウドシステム検討構築業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和6年5月26日
履行期間（至）	令和6年3月22日
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 高野 誠紀 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約を締結した日	令和6年5月26日
契約の相手方の商号又は名称及び住所	(一財) 港湾空港総合技術センター
	理事長 林田 博
	東京都千代田区霞が関3-3-1
随意契約によることとした会計法令の根拠条文	会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、港湾整備の関係者（発注者、受注者等）においてB I M / C I M (Building/Construction Information Modeling, Management) の円滑な導入を図るため、B I M / C I Mのクラウドシステムの検討と構築を行うものである。</p> <p>本業の実施にあたっては、I F C (Industry Foundation Classes) ・J-LandXML等のオープンなフォーマットを使用した統合モデルの一貫した利用、様々な用途へ向けての3 Dモデルビューア機能の拡充、将来の機能拡充に対応するためのプログラムソースや使用クラウドプラットフォームの中立性等について留意する必要がある、専門的かつ広範な知識が要求される。さらに国土交通省の「B I M / C I M活用ガイドライン（案）」等との整合を図り、要件定義書を的確に更新する必要がある、且つ、システムの今後の活用方法と開発すべき機能等を検討する構想力・応用力が要求されることから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式に準ずる方式により公募を行った。</p> <p>その結果、入札説明書を交付した20者のうち、業務実施条件を満たし技術提案を行った唯一の法人であり、また業務実績、技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人には本業務を遂行する上で必要な能力が十分備わっていることが確認された。</p> <p>以上の理由から上記法人を選定し、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。</p>
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥106,040,000
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥105,600,000
落札率	99.59%
再就職の役員の数	

プロポーザルの評価結果

1. 業務名 港湾整備BIM/CIMクラウドシステム検討構築業務
2. 特定した提案者 一般財団法人港湾空港総合技術センター
3. 特定した提案者の住所 東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
4. 特定した提案者の代表者氏名 林田 博
5. 特定日 令和 5年 5月 10日

項 目	配点	一般財団法人 港湾空港総合 技術センター			
1. 技術者資格					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	5			
2. 業務実績					
同種又は類似業務の実績	5	5			
3. 業務成績及び表彰	10	5			
「配置予定管理技術者」の平成29年度から令和2年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局、及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	2			
「配置予定管理技術者」の平成29年度から令和2年度末までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	3			
4. 技術提案書の内容	120	51.000			
1)実施方針・業務フロー	30	12.000			
2)特定テーマに関する技術提案	90	39.000			
特定テーマ1 国土交通省の「BIM/CIM活用ガイドライン(案)」等との整合を図り、要件定義書を的確に更新する上での留意事項について	45	24.000			
特定テーマ2 システムの今後の活用方法と開発すべき機能等の検討を行う上での留意事項について	45	15.000			
合 計 (小数点第3位以下切り捨て2位止め)	140	66.00			